

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2019年6月12日

週報 第2567号



インスピレーションになるう

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を
深めるか
- 4、みんなの為に
なるかどうか

プログラム案内

本日のプログラム

6月12日(水)

- ・点鐘
- ・ロータリーソング
それこそロータリー
- ・会長報告
- ・幹事報告
- ・会員卓話 白井淳司 会員
- ・次回予定
- 6月19日
- ・会員卓話 橋本孝彦会員

例会報告

第2682回(2019年6月5日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
62名	33名	27名	55%	64%

欠席会員

伊野波、喜納、安里、豊村、仲本、大原、新垣、
新里(順)宮里、上原、大城(博)、宮内、福重、
照屋(義)、久保、渡慶次、大城(純)、立津、
城間(久)、三浦、丸橋、照屋(紀)、平尾、宮城、
古荘、内山、人見会員

ゲスト

伊波 美智子 (沖縄キリスト教学院 理事長)

城間 柚希 (那覇西奨学生)

高橋 真規子 (城間 一会員)

メイクアップ会員

安里清榮 (5/30那覇東) 大原 博 (6/5宜野湾)

ニコニコBOX

合計 ¥2,000 累計 ¥432,000

儀間 聖輝 お天気が続きますように

会長 具志堅 一真 副会長:比嘉広明 當間良明
幹事:比嘉芳直

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



会長報告



皆さんこんにちは。今日お越しの沖縄キリスト教学院の理事長伊波美智子さんは昔は琉大の先生で、20年ほど前に私が県のリサイクル委員の時ご一緒してですね大変ご指導を受けました。なんか久しぶりで懐かしなという感じでびっくりしました。それと先週、台湾に行ってきました。知り合いの墓参りでしたが、墓がイスラム教だとか仏教だとか何教も全部一緒になってですね、永久何とかっていうんです。そこは火を使わない。掃除が行き届いている。係がずっとついてくるんですね。花束も備えるだけで、終わったらあるとこにやって徹底管理で、個人で600万、ファミリーのが1千万とか。もう既に予約がたくさんされていて、日本の方もいらっしゃるということでした。その近くに戸建てのお墓があり、かの有名なテレサテンのお墓がありました。入った途端に音楽がダ〜っと流れてくるんです。センサーが完備してましてですね、彼女のヒット曲、ピアノみたいなのがちょっとオブジェみたいのが大きなのがありまして。その奥にお墓があるんですが、そこはその前いた場所とは違うヒット曲が流れていました。報告までです。

本日城間会員の地下ケーブルのお話。それでは本日も宜しくお願ひします。ありがとうございました。

幹事報告

2018～9年度沖縄分区連絡会開催の案内

日時：2019年6月21日（金）

連絡会 16:00～17:00

懇親会 17:20～20:20

場所：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ6階

登録料：お一人様5,000円

那覇西奨学生紹介



左から 沖縄キリスト教学院（伊波理事長）

那覇西奨学生（城間 柚希）

※那覇西RCの奨学生に迎えてもらい深く感謝申し上げます。例会にも出席し、先輩方の貴重なお話等吸収していきたいと思っています。

※キリスト教学院では、60周年迎え給付型奨学金の制度を作りました。年間5千万円を目標に寄付金を集めていますのでご協力をお願いします。

卓話（離島を結ぶ海底光ケーブル）城間会員



本日は「離島を繋ぐ海底光ケーブル」を題材にお話を致します。まず初めに、会社紹介をさせていただきます。

(株)協和エクシオという会社ですが、電話工事屋さんですと皆様には紹介しています。通信キャリアの工事を主に担当し、日本全国の他海外（フィリピン等）でも事業を展開しています。通信工事の他にもホテルシステムやごみ焼却炉などの事業にも携わっています。

それでは、本題の「離島を結ぶ海底光ケーブル」についてお話を致します。まずは、映像をご覧ください。〈ビデオ放映〉

ご覧いただいた「離島地区海底光ケーブル敷設事業」は国の一括交付金を利用し、沖縄県発注工事をNTT西日本が請け負い、完了後はNTTが運用を行うという事業でした。約90億円の事業費と3年にまたがる大工事です。それまでは、NTTの海底光ケーブルと無線を使って島々を繋いでいましたが、本事業で先島の離島を全て繋ぐことで、海底光ケーブルが完全ループ構成（2重化）となり、片側が断線しても通信サービスが途切れることはなくなりました。



海底光ケーブル敷設船（すばる）全長130m

次にRBCが製作した「大東島へつながる光の道」の映像をご覧ください。〈ビデオ放映〉

地デジ放送を南北大東に届けるため、沖縄本島と南大東島を海底光ケーブルでつなぐ事業が沖縄県とNTT西日本の協業により実施されました。それまで南北大東島は衛星を経由してテレビ放送や通信を受信していました。放送は小笠原と共同で衛星を利用していたため、東京の放送しか見れず地元沖縄のローカル放送を見ることができませんでした。また民放を視聴するために、1,900円/月を住民が負担するという格差が続いていました。ビデオにもあったように南北大東の方々が待ち望んでいた海底光ケーブルがつながり、大容量の通信やローカル放送の受信、沖縄本島との格差是正に大きく貢献できた事業となりました。

私は前職のNTTから現在の協和エクシオでも通信を通して地域に貢献していきたいと思っています。駆け足になりましたがこれで海底光ケーブルの概要説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。